

2013年8月総括

2013年夏のキーパー選手権がおこなわれた暑い・暑い8月が終わりました。今年の8月は異例ともいえる猛暑が続き、施工するのも厳しい環境が続きました。そのような中でも、お客様が喜んでくれる姿を思い、妥協なく1台1台きっちり施工をしました。

特に、お盆前ぐらいから、コーティング・洗車とも来店が増え、たくさんのお客様の笑顔をいただきました。

しかし、20日過ぎてから、急ブレーキがかり、キーパー選手権、最後の追い込みをかけることができず苦しみました。最後の最後、31日まで諦めることなく、みんな運営をしてくれました。

実績は前年同月比117%、前年実績のある店舗で107%です。

猛暑の中、たくさんのお客様のキーパー選手権へのご参加、誠にありがとうございました。8月は、たくさんのお客様のキーパープロショップの店舗へお伺いさせていただき、皆様の熱い思いをたくさん拝見することができました。

東日本事業本部 賀来 聡介

※この表はLABO直営店とFCの高松西店(計30店舗)の数字です。 ※ダイヤ・アクアの台数に、メンテナンスは含まれていません。

8月	コーティング台数(台)			売上金額(円)			板金・その他(円)	合計(円)	前年対比(%)	人時生産(円/時)	順位(位)	
	ビューキーパー	クリスタルキーパー	ダイヤアクア	一般		業販						
				洗車コーティング	アラカト							室内関連
① 札幌店	49	93	18	3,498,467	786,596	270,206	436,588	883,208	5,875,065	135%	5,704	5
② さいたま店	7	31	8	1,438,923	227,146	78,606	0	1,299	1,745,974	—	3,169	30
③ 浦和美園店	25	58	5	2,576,797	474,743	269,057	0	57,689	3,378,286	128%	4,657	25
④ 草加店	24	56	23	3,893,631	783,382	318,638	154,537	850	5,151,038	—	5,254	10
⑤ 船橋店	15	34	9	1,572,703	370,736	120,823	0	613	2,064,875	—	4,065	29
⑥ 柏店	16	52	13	2,718,127	451,516	201,158	51,849	20,500	3,443,150	96%	4,522	24
⑦ 松戸店	39	60	12	3,458,070	754,264	441,424	133,907	577,477	5,365,142	88%	5,112	9
⑧ 松戸東店	40	52	7	2,667,914	365,369	330,297	53,534	89,631	3,506,745	80%	4,720	22
⑨ 足立店	77	107	23	6,127,693	1,144,435	680,254	426,140	66,884	8,445,406	111%	5,327	1
⑩ 板橋店	77	92	18	5,664,175	1,003,615	490,011	0	1,507	7,159,308	113%	5,844	3
⑪ 世田谷店	16	51	21	2,882,703	677,898	158,406	97,434	10,044	3,826,485	—	5,307	20
⑫ 八王子店	61	87	26	5,697,499	1,352,556	521,387	123,985	4,948	7,700,375	113%	5,818	2
⑬ 相模原店	72	81	15	4,369,742	876,092	468,242	0	0	5,714,076	108%	5,211	6
⑭ 上溝店	42	64	15	3,704,086	837,607	316,693	0	2,183	4,860,569	119%	5,199	14
⑮ 豊田店	45	74	9	3,367,049	815,236	282,419	38,526	58,385	4,561,615	130%	4,853	17
⑯ 岡崎店	61	65	24	4,160,196	1,067,000	420,194	206,688	36,921	5,890,999	100%	5,123	4
⑰ 安城店	73	57	12	3,674,359	736,540	376,831	96,183	137,230	5,021,143	108%	5,379	12
⑱ 知立店	53	49	16	2,945,359	789,960	326,057	251,064	2,440	4,314,880	105%	5,823	18
⑲ 刈谷店	48	68	18	4,087,831	1,017,718	468,611	2,362	92,267	5,668,789	84%	5,908	7
⑳ 大府店	53	74	13	3,871,901	756,703	373,107	38,212	108,054	5,147,977	107%	5,179	11
㉑ テクニカル店	0	18	1	354,609	124,280	5,906	0	1,619,923	2,104,718	131%	3,570	28
㉒ 東海店	105	51	13	3,826,327	1,162,580	362,340	111,321	47,041	5,509,609	103%	5,200	8
㉓ 鳴海店	40	40	7	2,520,505	547,784	262,412	0	22,669	3,353,370	86%	4,398	26
㉔ 大須店	12	55	20	2,844,461	1,115,208	229,817	447,666	237,781	4,874,933	114%	5,759	13
㉕ 中川店	38	50	15	2,826,469	562,941	194,960	404,440	2,326	3,991,136	111%	5,262	19
㉖ 善見寺店	58	46	5	2,356,343	637,296	236,798	179,919	45,414	3,455,770	115%	4,462	23
㉗ 一宮店	19	35	16	2,514,644	460,609	123,893	70,296	177,254	3,346,696	119%	4,610	27
㉘ 鈴鹿店	50	60	14	3,750,845	460,923	327,915	41,240	6,653	4,587,576	97%	4,535	16
㉙ 新瀬店	43	41	17	2,750,850	559,425	161,129	102,957	35,183	3,609,544	86%	4,584	21
㉚ 高松西店	81	51	9	3,164,896	1,403,296	144,331	0	64,908	4,777,431	135%	4,214	15
総合計	1,339	1,752	422	99,287,174	22,323,454	8,961,922	3,468,848	4,411,282	138,452,680	—	4,959	
前年対比	89%	114%	137%	118%	130%	110%	82%	113%	117%★107%	—	100%	

★前年実績のある店舗のみの値です。

第6戦

SUPER GT レポート

9/7(土)予選・9/8(日)決勝 2013 SUPER GT第6戦 in 富士スピードウェイ

不安定な天候、熾烈な争いのなか、見事3位入賞!!

■予選は、危なげなく2位で通過

予選はQ1を伊藤大輔選手が担当、危なげなくQ2へ。この日は結局、Q2も最後まで路面はドライのまま行われ、進出した8台すべてがトップと0.8秒以内にひしめく大接戦となったが、アタックを担当したアンドレア・カルダレッリ選手が素晴らしい走りを見せて2番手、最前列を獲得。

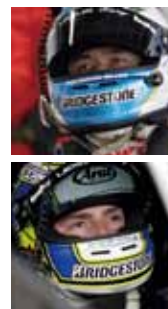
富士スピードウェイは予選、決勝日を通してキャンプをして過ごすことができるなど、夜を通して楽しむことができ、日曜日は朝早い時間からKeeperシャツやキャップをかぶったファンも大勢見受けられた。

■静かなスタートも、突然のアクシデントでSC導入

最前列2番手からスタートするKeeper TOM'Sは、スタート合図であるグリーンフラッグを振られた後に3番手18号車が真後ろにつくが、レース前半を担当するカルダレッリ選手が1コーナーでイン側を守り、2位をキープしたままオープニングラップを走り抜ける。トップのマシンが最初に良いタイムで走り、逃げる作戦をとったため、トップとの差が開く。しかし、15周も過ぎるとトップのマシンのペースが落ち着き、Keeper TOM'Sは3番手を引き離しながら徐々にトップとの差を縮めていく。20周目に入りいよいよ前を伺おうとしたその時、ホームストレートエンドで32号車のタイヤが突如バースト。激しいクラッシュを喫し、鈴鹿に続いてこのラウンドもSC(セーフティカー)が出勤することになった。数周SC先導で走り、迎えた24周目には、1台を除くほとんどのマシンがピットに飛び込んでくる。

■雨に翻弄され混乱の中、レースは大詰めへ

前戦の鈴鹿と同様にストレート上にマシンが並べられた後にSCランが再開され、各車ピットへ入ってくるが、36号車と同時ピットとなるKeeper TOM'Sはピット作業位置へ入れるタイミングが僅かにあわず、ピットアウトした時には5番手まで順位を下げてしまう。トップが見



9月15日現在

GT500ドライバーランキング			
順位	Car No.	ドライバー	ポイント
1	18	山本 尚貴 F・マコヴィツキ	46
2	12	松田 次生 J・Pオリベイラ	46
3	23	柳田 真孝 R・クインタレッリ	44
4	38	立川 祐路 平手 晃平	43
5	17	塚越 広大 金石 年弘	41
6	37	Keeper TOM'S SC430 伊藤 大輔 A・カルダレッリ	40
7	100	伊沢 拓也 小暮 卓史	37
8	39	脇阪 寿一 石浦 宏明	37
9	36	中嶋 一貴 J・ロスター	34
10	6	大嶋 和也 国本 雄資	32
11	8	R・ファーマン 松浦 孝亮	31
12	1	本山 哲 関口 雄飛	20
13	19	荒 聖治 A・コート	8
14	24	安田 裕信 M・クルム	7
15	32	道上 龍 中嶋 大祐	3

えていただけない、このレースでチームが1番悔しかった瞬間かもしれない。ドライバーを交代した伊藤選手が果敢に攻め、4番手を奪い、さらに前を狙っていこうとしたところ、ホームストレートに突然大粒の雨が降ってくる。予想以上に多い突然の雨にレインタイヤに変えるか、そのままスリックタイヤで行くか各車様子を見ながら、ペースをやや落とし走行を続ける。そうしている間に、後ろのマシンにかわされ5番手に順位を戻されていたKeeper TOM'Sを含む2~5番手までの間隔が縮まり、ほぼ団子状態で走行する。数周後、2番手を走るマシンにペナルティがあり順位を下げる。一瞬強く降った雨も小康状態になり、レインタイヤへの交換にかけ、ピットインを遅らせていたトップのマシンもピットへ入ってきたため、3番手表彰台圏内に順位を上げる。トップ3台がそのまま優勝争いを繰り広げるが、不安定な雨模様と同様、タイム差が縮まったり戻ったりをわずかな差で繰り返しながら3番手でチェッカーを受ける。優勝を狙ったKeeper TOM'Sは少し悔しさの残る表彰台となった。しかし、これでシリーズはトップまで6ポイント差に、Keeper TOM'Sを含む5台以上がひしめく大接戦となり、次戦は九州オートポリスでの戦いを迎える。

第5戦

8/17(土)予選・8/18(日)決勝
2013 SUPER GT第5戦 in 鈴鹿サーキット

猛暑のなか、粘りのある走行で 5位入賞!



鈴鹿サーキットで行われた2013 SUPER GT第5戦はシリーズ最長の1000kmレース。#37号車Keeper TOM'S SC430を駆る伊藤大輔選手とアンドレア・カルダレッリ選手は、決勝レースを7番手ポジションからスタート。スタートドライバーは伊藤選手が務め、タイヤの摩耗を気遣いながら順位を上げていく。カルダレッリ選手はセーフティカーが導入される前にポジションを一つアップしたものの8位まで順位を落とす。しかし両選手の落ち着いた粘りのある走行で5位入賞となった。今年の#37 Keeper TOM'S SC430は安定したスピードがあり上位入賞が当たり前になっている。鈴鹿1000kmは、SUPER GT唯一の耐久レースで、暑い上に、いつもの3倍以上の距離を走る過酷なレースだ。昨年は、上位の車が次々に潰れていく中、幸運にも生き残ることができ、2位入賞。今年は特に大きな波乱もなく、しかし幸運にも恵まれず、結果、まずまずの順当なレースに終始した。そう言ってしまうと簡単だが、約6時間あまり、猛暑の中、両選手ともよく健闘してくれた。